

沼津西ロータリークラブ



2024～2025 年度・クラブテーマ

「Try It Now」やってみよう

会 長 鈴木 和憲 / 幹 事 久松 但

第 1516 回 第 34 巻 15 号 2024 年 11 月 7 日

■■本日のプログラム■■

外部卓話 地区財団委員会 ロータリー財団委員会
大澤能孝委員（富士宮 RC）

■11 月のプログラム■

1517 回 12:30	地区大会参加報告
11 月 14 日(木)	会長・幹事・参加者・理事会
11 月 21 日(木)	祝日週休会
1518 回 12:30	サッカー大会報告
11 月 28 日(木)	サッカー大会参加者

例 会 場 〒410-0046 沼津市米山町 3-37

アクアガーデン迎賓館沼津

TEL 055-920-5200

事 務 局 久松会計事務所内

TEL 055-961-2050 FAX 055-961-2600

E-mail: numawestrc@gmail.com

例 会 日 毎週木曜日 12:30 点鐘

公共イメージ向上委員長 名古 良輔 / 編集者 颯川 ゆう子

出席報告 会員数 21 名

例 会	会員数	出席数	出席率
1516 回	20 名	16 名	80%

●欠席者(4 名)

会長挨拶

● 会長 鈴木 和憲

11 月はロータリー財団月間です。

ロータリー財団は、1917 年 6 人目 RI 会長のアーチ・クランプ氏が「世界で良いことをするために、ロータリーに基金を作ろう」と提案して始まりました。最初 26 ドル 50 セントで始まった R 財団基金は、100 年以上前に創立されて以来、教育の支援や持続可能な成果を生み出すプロジェクトに総額 40 億ドル以上の資金提供をしてきました。ロータリー財団の使命は、ロータリー会員が、人々の健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保護に取り組み、貧困をなくすことを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです。

*わずか 60 セントで、一人の子供をポリオから守ることが出来ます。

*50 ドルで、水を介する疾病から人々を守るために安全な水を提供することが出来ます。

*500 ドルで、いじめ撲滅キャンペーンを立ち上げ、子供たちに安全な環境を作ることが出来ます。

ロータリー財団は、慈善活動を目的とする公共慈善団体であり、管理委員会によって管理されています。（会員制組織である国際ロータリーは、理事会によって管理されています。） 国際ロータリーとロータリー財団の世界本部は米国イリノイ州エバンストンにあります。当財団の協力団体が、日本、韓国、オーストラリア、ブラジル、カナダ、ドイツ、英国に設けられています。

最後にロータリー財団は国際ロータリーに併設された法人ですが、理念的にも、実際的にも一体の組織として機能しています。国際ロータリーは会員からの会費によって支えられ、ロータリー財団は自発的な寄付によって支えられています。

クラブと地区は、ロータリー財団から授与された補助金を活用して、よりよい町や世界を築く為の補助金プロジェクトを実施しています。

ロータリー財団には 7 つの重点分野があります。それは、1.平和の促進、2.疾病との闘い、3.きれいな水の提供、4.母子の健康、5.教育支援、6.地域経済の発展、そして、7.環境の保護です。

●ゲスト

1. 地区財団委員会 ロータリー財団委員会 大澤能孝委員（富士宮 RC）

●欠席者（ 4 名）

本村文一、重光 純、植松 正、渡邊勝也

●スマイル報告

1. 久松 但：家族の誕生日のお祝いありがとうございます。2. 芹澤貞治、3. 宮島賢次、4. 羽切勝利：大澤様、本日の卓話、宜しくお願い致します。

幹 事 報 告

1. 他クラブの例会変更

①沼津 RC 11/8(金) 休会 MU：無し
11/29(金) 休会 MU：無し

②沼津柿田川 RC

11/6(水) 11/10 の地区大会へ変更 MU：無し
11/13(水) 11/16(土)の清水町ふれあい広場に変更 MU：無し
11/27(水) 第4週目のため休会 MU：無し

2. 連絡事項

①次週は、例会後、理事会がありますので、各理事は提案資料の提出をお願いいたします。
②11/10 の地区大会に参加の方は、6時40分沼津駅北口集合・出発です。

卓 話



ロータリー財団について

2620 地区ロータリー財団 大澤能孝委員（富士宮 RC）

1917 年ロータリー財団が誕生しました。公益財団法人ロータリー日本財団は、国際ロータリーのロータリー財団の協力財団です。理事長は茶道家の千 玄室氏であります。平成 22 年 12 月に内閣府より公益財団法人として認定を受け、14 年目を迎えます。100 年の歴史を持つ国際ロータリーのロータリー財団と「世界で良いことをしよう」という理念を同じくし、ロータリーの奉仕の理念に基づき、人々の健康状態を改善し、教育への支援を高

め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにする事を目的としている国際ロータリー財団に協力して公益事業への支援も行っています。当法人は、持続可能な変化と成果をもたらす人材を育成するため、奨学金事業に注力しています。

昨今の世界情勢において、平和の大切さと平和構築のための人材の重要性が実感されております。その中で、当財団が果たすことが出来る役割は決して少なくないと考えております。日本財団の公益目的事業は個人が海外留学するため、もしくは海外から日本へ留学するための奨学金(グローバル補助金における奨学金)およびロータリー平和フェローシップの付与を行っており、すでに 900 名の学友が各国政府や国際機関などに勤務しています。国際 RC 規模では 1947 年から 2013 年までの国際親善奨学金制度による奨学生は 4 万人(日本は 8 千人)を越えています。昨年度皆様から寄せられた日本財団への年間寄付金額は、20 億円を超えました。国際財団は日本全国および海外に約 35,500 あるロータリークラブと 120 万人を超える会員が、発展途上国に綺麗な水をもたらし、平和活動に携わる人材を育成するなど、様々な形で世界の平和と人々の生活をよりよくするための活動を支援しています。ポリオ撲滅活動においても、予防接種活動を通じて発症数を世界で 99.9%減少させてきました。子供達を苦しめるポリオ(かつて日本でも大流行した小児麻痺)の撲滅には、特に力を入れてきました。世界 122 か国 20 億人以上の子供達へ予防接種を行い「あと少し」を合言葉に、最後の 0.1%の絶滅のため最もワクチンを届けにくい地域での予防接種を可能にすべく、WHO、ユニセフ等の団体と共に活動しているところです。

2016 年の 11 月 27 日に開催されたロータリー財団 100 周年記念シンポジウムでは緒方貞子氏に「ロータリー財団 100 周年学友世界人道奉仕賞」が授与されました。このシンポジストの 5 人はロータリー財団の奨学金を得て留学した後、海外において人道援助活動をしておられる方達でした。ポリオ撲滅の最前線ナイジェリア、パレスチナのガザ地区、南スーダンの紛争地、シリアでの戦闘地域における救援物資の運搬や住居支援など、まさに世界が国際協力のもとに解決していかなければならない最前線で活動している学友たちです。

中満 泉(なかつみ・いずみ)氏は 34 年前に神奈川県厚木ロータリークラブから派遣された国際親善奨学生です。今、中満氏は、国連の軍縮部門トップである軍縮担当上級代表(事務次長)に就任し、活躍しています。事務次長は、事務総長、副事務総長に次ぐ幹部ポストです。このことを我々ロータリアンは知っておく必要があると思います。

今年度も会員一人 150 ドルを RC 財団に、ご寄付いただきますようお願い申し上げます。

沼津西ロータリークラブ



2024～2025 年度・クラブテーマ

「Try It Now」やってみよう

会 長 鈴木 和憲 / 幹 事 久松 但

第 1517 回 第 34 巻 16 号 2024 年 11 月 14 日

■■本日のプログラム■■

地区大会参加報告 会長・副会長・副幹事 理事会

■11 月のプログラム■

11 月 21 日(木)	祝日週休会
1518 回 12:30	サッカー大会報告
11 月 28 日(木)	サッカー大会参加者

■12 月のプログラム■

12 月 05 日(木)	裁量休会②
1519 回 12:30	クラブ協議会② 下期活動計画
12 月 12 日(木)	理事会⑦
1520 回 18:30	クリスマス家族例会
12 月 19 日(木)	クラブ管理運営委員会 夜間例会
1521 回 12:30	外部卓話 沼津市商工会
12 月 26 日(木)	事務局 原所長 加藤直人氏

例 会 場 〒410-0046 沼津市米山町 3-37

アクアガーデン迎賓館沼津

TEL 055-920-5200

事 務 局 久松会計事務所内

TEL 055-961-2050 FAX 055-961-2600

E-mail: numawestrc@gmail.com

例 会 日 毎週木曜日 12:30 点鐘

公共イメージ向上委員長 名古 良輔 / 編集者 瀬川 ゆう子

出席報告 会員数 21 名

例 会	会員数	出席数	出席率
1517 回	20 名	16 名	80%

会長挨拶

● 会長 鈴木 和憲

皆さんこんにちは、今日は日常で使う「大丈夫」という言葉について話をしようと思います。

「寒くない?」「大丈夫」「もっと食べる」「大丈夫」など、「大丈夫」という言葉は日常よく使います。

「丈夫」とは、健康で頑丈なさまを表す言葉として使われますが、やまと言葉で立派な成人男性、勇気があって強い男性のことを益荒男（ますらお）、又は丈夫（大丈夫）と書いて「ますらお」と言ったそうです。

「丈夫」という漢字は、古代中国で成人に達した男性のことを言い、その漢字が日本に伝わり、後に「ますらお」に「丈夫」という漢字が当てはめられたそうです。確かにパソコンで「ますらお」と打つと「益荒男」「丈夫」「大丈夫」と変換されます。そして「ますらお」のなかでも、より立派な男性のことを「大丈夫」と言ったそうです。そこからそのような立派な人が近くにいてくれれば安心だということから現在の「大丈夫」という意味に転じたそうです。

本来「大丈夫」の語源は古代サンスクリット語の「マハー・プルシャ（偉大な男性）」が語源で、頼れて偉大な人という人稱として使われていたそうです。

中国に偉大な存在である菩薩が伝わり、成人した立派な男性「丈夫」と「菩薩」のイメージが重なって、そこに「大」という美称・尊称を付けて菩薩のことを「大丈夫」と呼ぶようになったと言います。「大丈夫」とは、人々を救うために修行をしている「菩薩」様のことを称する別名ということになります。

先に掲げた「寒くない?」「大丈夫」「もっと食べる?」「大丈夫」は、本来の意味とは間違った使い方ということです。あなたが使っている「大丈夫」は、「大丈夫」ですか？

●欠席者（ 4 名）

久松 但、下原満知子、内田逸美、渡邊勝也

●他クラブへの出席者

鈴木和憲、久松 但、芹澤貞治、杉山真一、富岡由樹、山田和典（11/10 地区大会）

●スマイル報告

1.地区大会参加者：地区大会2次会の残金です。2.本村文一：所要にて、早退します。

幹事報告

1.他クラブの例会変更等

①沼津 RC

11/22(金) 会場変更 MU：無し

11/29(金) 休会 MU：無し

②沼津北 RC

11/19(火) 休会

MU:11:30-12:30(沼津リバーサイドホテル)

③富士山吉原 RC

11/21(木) 夜間例会 MU：無し

④富士宮 RC

11/15(木) 2RC 合同例会 MU：無し

⑤沼津柿田川 RC

11/27(水) 第4週目のため休会 MU：無し

2.報告・連絡事項

①本日は、例会後理事会がありますので、理事の方は出席をお願いいたします。

②次週は、祝日週休会です。

③2025年6/21-25に、ロータリー国際大会が「カナダ・カルガリー」にて開催されます。参加ご希望の方は、事務局までお知らせください。

理事会報告

1.報告事項

特にありません。

2.協議事項

①12月度例会プログラムの件

クラブ管理運営委員長 杉山真一君

→別紙プログラムにつき、承認

②12/19(木)開催のクリスマス家族例会の件

クラブ管理運営委員長 杉山真一君

→別紙プログラムにつき、承認

・日時：12月19日(木)18:30～

・会場：アクアガーデン迎賓館

③本村文一君、出席免除の件(11月7日より適用)

→承認

地区大会報告



鈴木和憲 会長

今回は、国際ロータリー第2620地区2024-25年度地区大会が、「よりそう奉仕・ロータリー」と題して「社会によりそう奉仕を展開し、ロータリーのマジックを実現しよう」をテーマに11月9日(土)・10日(日)の二日間山梨県甲府市において開催されました。

1日目は、甲府記念日ホテルを会場に地区大会四委員会が午前中に開かれ、地区委員長・副委員長、会長・幹事会が12時受付の13時より開会されました。

まず最初に、服部陽子RI会長代理が大会旗の先導で会場に入場後、小泉ガバナーによる開会の点鐘、国家斉唱・ロータリーソングが合唱されました。その後実行委員長より開会の言葉、小泉ガバナーより服部陽子RI会長代理の紹介、そして来賓・役員の紹介があり、最後に小泉ガバナーの挨拶がありました。

ガバナーの挨拶は、国際ロータリー会長ステファニーA.アーチック氏が掲げたテーマ「The Magic of Rotary(ロータリーのマジック)」の下、私たちは地域社会で小さなマジックからグループ合同奉仕として大きなマジックまで展開させていくため「よりそう奉仕・ロータリー」のスローガンを示し、事業を進め、特に、年度の初めから地区大会までに、地区内全部のクラブ(74ロータリークラブ及び5ローターアクトクラブ)を訪問し、クラブの現状や課題などについて協議を重ね、アーチック会長のテーマ・方針などについて共有できるよう努めてきたことの話がありました。

地区大会の目的は、地区内の会員や地域社会のリーダーが集い、ロータリーへの参加意欲を高め、互いの協力関係を強化し、ロータリーが世界でもたらしているインパクトを紹介することです。

今回、ステファニーA.アーチックRI会長代理として、経験豊富で国際的な視野をお持ちの服部陽子国際ロータリー第2750地区バスターガバナーの紹介、ガバナー補佐、各委員会委員長の紹介とクラブ活動事例の紹介等の挨拶がありました。

次に、RI会長代理の服部陽子氏(東京広尾RC)からのメッセージでは、アーチック会長の掲げる「平和構築」に向けて、「行動計画」の4つの優先事項に沿って行動を起こしましょう！平和構築への道は、人々の心の平安から始ま

り、その心が世の一隅を照らす光となり、沢山の人の奉仕の光が繋がって世界を包む大きな平和の光へと発展していくものと信じます。そして、小泉ガバナーはRI会長のテーマを受けて、「よりそう奉仕・ロータリー」を地区のスローガンに掲げ、「ロータリーのマジックを実現しよう」と呼び掛けています。この大会がインスピレーション溢れる地区大会となることを願っています、と締めくくりました。



杉山真一 副会長

11月9日10日の2日間に及び行われました。甲府西ロータリークラブをホストクラブとして山梨県甲府市YSC県民文化ホールを会場として開催されました第2620地区2024-2025年度地区大会の2日目に参加してまいりました。

朝6:40に沼津駅北口集合という早朝からの集合でしたので眠たい1日の始まりでしたが、当クラブの参加者は前日から参加されていた鈴木会長・久松幹事・芹澤さん・山田さん・富岡さんと私の6人で参加してまいりました。

尚、当クラブ6人とバスに同乗した沼津柿田川RCの皆さんも6人という参加者で広々とバスには乗って行けましたが、参加人数があまりにも少なく今までで一番寂しい経験でしたので、次年度は是非たくさんの会員の参加をお願いしたいと思っています。

まずバスでの移動は、やはり道路状況に左右されてしまうため今回高速で中央高速道甲府南インターチェンジ手前にて単独での横転事故の為、渋滞にはまり前乗りしていた久松幹事からも心配して連絡が来てしまうほどギリギリでの会場到着で、開会15分程度前でしたので会場に入りすぐ着席して点鐘という慌ただしい地区大会の始まりでした事と本会議もRI会長代理アドレスの気を失ってしまうほどの長さで今年から各表彰事項が細分化され表彰数が増えた事と各活動報告やROTEXやその他の活動紹介が多く、大分時間が押してこのままではアピオ甲府にて会場を移動して行われる大懇親会の会場に時間通りには入れないのが記念講演の前の時点で感じられ、参加している方が心配になってしまうプログラムの実施状況で、事実、本会議の終了が遅れたこととアピオ甲府までの移動が渋滞にはまり着いた時には大懇親会は始まってしまっていました。

私からは主に、今回の地区大会の記念公演について報告させていただきたいと思います。

今回の地区大会の中では、元厚生労働事務次官で現在全国社会福祉協議会会長の村木厚子さんによる記念講演【女性がより活躍できる組織・社会を創るために】が開催されました。

現在、社会でご活躍をされていらっしゃる女性の割合は44.6%と、およそ30年前の平成2年と比べると464万人ほど増加している一方で、管理職に占める女性の割合も依然として少ないまという社会情勢にあります。

女性が働きやすく活躍のできる組織・社会の形成には、今現在の上記に挙げる社会情勢を見直していくという課題がある一方で、行政と企業が連携しながら継続的に問題解決に向けて解決策を見出していくなどの努力を行っていく必要もあります。

今回の記念講演で学ばせて頂いた知識を基とし、女性が働きやすく活躍できる組織・社会づくりのために、私自身も引き続きしっかりと勉強をさせて頂きながら、尽力する事が出来ればよいなと心から思っております。

本当に沢山の学びと収穫のあった地区大会でした。この地区大会で得た知識と経験を胸に、引き続き、頑張りたいと思います。



富岡由樹 副幹事

はじめて国際ロータリーの地区大会に参加させていただきました。

地区大会は、ロータリーのメンバーや地域のリーダーが集まり、奉仕活動や地域貢献のアイデアを共有し合う貴重な機会であると認識しました。

地区大会では、著名な講師の講演や専門家によるワークショップが行われます。今回は元厚生労働事務次官の村木厚子氏を迎え企業コンプライアンスの厳格化やライフワークバランスの重要性などについて拝聴し今まさに弊社で起きている問題とリンクして非常に勉強になりました。

ロータリーの基本理念である「奉仕の理想」を見つめ直す良い機会だと思います。大会のプログラムを通じて、ロータリーの歴史や活動の意義を再確認し、自分の活動にも新たなモチベーションを見つけられるかもしれません。

最後に、大会プログラム内にクラブごとの地区大会登録者数、30年以上100%出席正会員など興味深い項目もあり、ロータリアンであることの意味を少しだけ知り得たような気がしました。

沼津西ロータリークラブ



2024～2025 年度・クラブテーマ

「Try It Now」やってみよう

会 長 鈴木 和憲 / 幹 事 久松 但

第 1518 回 第 34 巻 17 号 2024 年 11 月 28 日

■■本日のプログラム■■

サッカー大会報告

■12 月のプログラム■

12 月 05 日(木)	裁量休会②
1519 回 12:30 12 月 12 日(木)	クラブ協議会② 下期活動計画 理事会⑦
1520 回 18:30 12 月 19 日(木)	クリスマス家族例会 クラブ管理運営委員会 夜間例会
1521 回 12:30 12 月 26 日(木)	外部卓話 沼津市商工会 事務局 原所長 加藤直人氏

例 会 場 〒410-0046 沼津市米山町 3-37

アクアガーデン迎賓館沼津

TEL 055-920-5200

事 務 局 久松会計事務所内

TEL 055-961-2050 FAX 055-961-2600

E-mail: numawestrc@gmail.com

例 会 日 毎週木曜日 12:30 点鐘

公共イメージ向上委員長 名古 良輔 / 編集者 額川 ゆう子

出席報告 会員数 21 名

例 会	会員数	出席数	出席率
1518 回	21 名	19 名	90.48%

会長挨拶

● 会長 鈴木 和憲

米山梅吉の功績とフジコ・ヘミング

世界的に有名なピアニストのフジコ・ヘミングさんが今年 4 月 21 日に 94 歳でなくなりましたが、フジコ・ヘミングさんは米山梅吉が創立した青山学院緑岡小学校（現在の青山学院初等部）の第 2 期生であったことはご存知ですか。その後、青山学院女子高等部を経て東京藝術大学に進まりました。

小学校にはフジコ・ヘミングさんを含めて 3 人の外国の子供がいて、学校外ではよくいじめられたようですが、この小学校では全く差別なく（今でいう DEI）、校長であった米山はこの外国の 3 人には特に親身になって接し良く頭を撫でていたようです。フジコ・ヘミングさんの学歴は、彼女の音楽的才能とキャリアの基礎を築く上で重要な役割を果たしたそうです。彼女の独特の演奏スタイルと深い表現力は、国内外で高く評価されています。フジコ・ヘミングはスウェーデン人で画家の父、日本人でピアニストの母、そんな芸術一家に、生まれ、6 歳になると、フジコ・ヘミングは母の手ほどきでピアノのレッスンを始め、2 時間ほどのレッスンが日に何回も繰り返され、しかもそれは、大人同様の内容を持つ、厳しいスパルタ教育だったそうです。

緑岡小学校はその建築費や設備などの費用のすべてを米山梅吉が私財を投じ、1937 年(昭和 12 年)に設立されました。米山は自らの責任で学校経営にあたることを決意し、「学校が完成するまでは保護者からの金品は一切受けない」、「良い教育は良い教師にある」、「少数定員制を守る」という 3 つの方針を保護者に示し「生徒の教育は学校が責任をもって行いますから、学校にすべてをお任せください」と、学校と保護者の信頼関係の大切さを強く主張しました。保護者は学校を信じて、我が子の教育を託し、学校はその信頼に応じて立派な人間に育てます。「信じて託す」、という米山の生涯を通じた信託の精神がここにも表れています。

●欠席者（ 2 名）

山本宜司、渡邊勝也

●他クラブへの出席者

杉山真一、富岡由樹（11/16 Pre-Pets）

重光 純（11/19 沼津北 RC）

内田逸美（11/25 京都中 RC）

●スマイル報告

1.芹澤貞治：入会記念日のお祝いありがとうございます。

2.久松 但：前は、お休みしましてすみません。本日は、下田委員長、よろしくお願いします。

3.本村文一：所要にて早退します。

幹 事 報 告

1.他クラブの例会変更等

① 沼津 RC 11/29(金) 休会 MU：無し

2.報告・連絡事項

① 12/19(木)のクリスマス例会の出欠席をご記入ください。

② 次週 12/5 は、裁量休会です。

③ 次々週 12/12 は、例会後、理事会がありますので、各理事は提案資料の提出をお願いいたします。

④ 12/12 の下期活動計画の原稿を、12/5 までに事務局に提出してください。

サッカー大会報告



U-8 少年サッカー大会
沼津西ロータリークラブカップ
ポリオ募金
下田朗弘君

日時 2024 年 10 月 27 日（日）

アスルクラロ沼津との協力関係では、5 年連続 5 回目のサッカー大会開催となりました。

今年の参加チーム数は 8 チーム、合計 87 名の子供たちが参加し、約 100 名の保護者が会場に来ていました。

今年は、サッカー大会への協賛にあたり、サッカーボール 10 個を寄贈して参加チームへの配布、サッカー大会運営に必要となるテントやカラーコーンなどの備品を寄贈するとともに、参加した子ども達全員に参加賞を寄贈することができました。

多くの子ども達が元気いっぱいにプレーする姿、負けて悔し涙を流す姿などを見ることができ、地元地域の子供達に対して一生懸命になって物事に取り組む機会を提供できたことは、当クラブにとっても大変意義のあることであり、ロータリークラブの存在や活動内容を知ってもらえる良い機会にすることができました。

サッカー大会後は、インターアクトクラブの生徒達、アスルクラロ沼津の選手と一緒に募金活動を行い、合計金 45,293 円の募金を集めることができました。ご協力くださった皆様、ありがとうございました。





インターアクトクラブについて



奉仕プロジェクト委員会
インターアクト委員長
山田和典君

本日は、加藤学園高校インターアクトクラブについて話をいたします。加藤学園高校インターアクトクラブは、当クラブの提携クラブとして、2009年5月14日に創立されました。現在の部長は3年生の植松宗治郎さん、顧問は鈴木力也教諭となっております。現部員数は概算で1年生55名、2年生15名、3年生20名と総勢90名程で、これは2620地区のインターアクトクラブで最大人数とのことでした。

例会は当校教室で行い、進行は、開会点鐘の後

司会より活動報告があり、その後参加ロータリアン・部長・顧問先生の順に話をします。他に特別なければ閉会点鐘になります。所要は30分程度です。

活動については、献血のサポーターとして「アボちゃんサポーター」活動、心のままアートプロジェクト活動(障害者やその家族が壁画やウインドウアートを共同製作する)、沼津夏祭りボランティア、沼津市パークレットデザイン会議(イーラde前の公共スペース)、杉原千畝式典(慰霊祭)の運営応援などがあります。ボランティア案件は、各活動団体からの依頼や顧問先生や各生徒からの提案から成り立っています。

各生徒にとっては、進学にあたっての内申点や自己研鑽など有意義な活動となっていることを感じました。

4クラブゴルフコンペ

12月1日(日)に4クラブ合同ゴルフ大会がすがすがしい晴天の下、ファイブハンドレットクラブにて開催されました。

今回は沼津北ロータリークラブの主催で、30名の会員が参加しました。当クラブからは5名の参加となり他クラブとの親睦を図る良い機会となりました。

